

第122回秘書技能検定準1級合格

合格者メッセージ

Q1. 秘書技能検定を受験するきっかけ、目的は？

A1. 高校の時に秘書検定の資格があることを知っていましたが、3級までしか受験しなかったことを後悔していたので、短大に入学したらさらに上級を受験しようと思っていました。準1級は記述問題も増え、筆記試験に合格すれば面接試験もあるので難しいかなと不安もよぎりましたが、短期大学での集大成として合格したいと思い受験しました。

Q2. 合格するために、どんな受験勉強をしましたか？

A2. 3級、2級と受験して、基本的知識についてはある程度頭に入っていたので、苦手な暗記問題を中心にやりました。本試験では類似問題も出題されていたので、過去問題対策は沢山やっていて良かったです。記述試験に合格すると面接試験があります。面接練習はなかなか先生の指導通りにできなかったのですが、自宅でロールプレイングをし、本番では「目の前のお客様を大切に作る気持ち」で、とにかく笑顔でゆっくり話すことを意識しました。

Q3. 合格した感想と今後の抱負は？

A3. 2週間の面接練習は、上達しない自分に悔しさや辛い思いを抱くこともありましたが、先生が時間をかけ付き合ってくださいました。諦めず個人練習を頑張ったので、合格と聞いた時はとても嬉しく受験して本当に良かったと思いました。今後は身に付けたスキルを仕事で活かし、社会人として知っておくべきマナーや知識はまだまだ沢山あるので、引き続き勉強を継続したいです。



Q4. 秘書技能検定準1級を目指す方へ

A4. 私は面接試験の内容を聞いた時、正直出来ないと思いました。しかし、練習していくうちに少しずつ出来るようになり努力したからこそ得られる達成感や自分の自信にも繋がると感じました。準1級の実験機会は年2回しかない貴重なチャンスなので、後悔ないように、また2級に合格したからこの程度でいいと思わず受験してほしいと思います。「為せば成る」です。

Q5. 受験してみたの気づいたことは何ですか？

A5. 私は緊張すると早口になり言葉に詰まってしまうことがあり、練習最終日まで、自分自身納得できないまま本番を迎えました。しかし、面接の順番が3番目だったこともあり、落ち着いて考える時間ができました。本番では「目の前の大切な相手に伝える」ことを意識することで、自然と前傾姿勢になり話すことが出来ました。緊張していても練習してきたことは体が覚えているので「練習＝自信」に繋がることになりました。また、内定をいただいている企業の就職面接のときに「準1級を受験します」と宣言していたので、このこともモチベーションになり、有言実行の成果が報告できることは本当に良かったです。



秘書検定を
含めて
全41資格
の取得を
サポート